

ゴデチア
Clarkia (Godetia)
(アカバナ科)

クラークア (Clarkia) の属名が使われることがあるが、ゴデチアで流通。和名がイロマツヨイと名づけられているように、1花ごとの日持ちは短い、蕾が次々と開花する。品種はほとんどが「ジューンシリーズ」で4~6月にだけ流通する季節商品。蕾はすぐに開花するので、蕾で採花する。花より先に葉が黄変し、萎れる。後処理剤で花の老化と葉の萎凋をある程度防ぐことができる。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
小花の老化	A: 花弁が変色せず、張りがある B: 花弁の変色はなく、雌しべの柱頭が4裂する C: 花弁がやや変色し、張りが無い D: 花弁が著しく変色し、張りがなく萎凋し、落下することがある	健全な小花数検査の参考にする
健全な小花数	5輪前後の小花・蕾のうち、 A: B, C, Dの小花がない B: Bの小花が1~2輪ある C: C, Dの小花があり、A, Bの小花が3輪以上 D: A, Bの小花が2輪以下	
葉の黄変・褐変・萎凋	A: 退色・黄変がない B: 下葉が黄変 C: 下葉が黄変し、萎凋する D: 全体が黄変または褐変し、萎凋する	葉はもともと濃緑ではなく、黄色っぽい。葉の変色・萎凋が小花の老化に先行する
その他		

2) 留意点

開花した小花と蕾の合計が5輪以上ある切り花を供試する。
小花の日持ちは短い、次々と蕾が開花する。
かん水、肥料を抑えて栽培しているので、葉は濃緑ではなく黄色っぽい。

3) 開花



4) チェック事項

花房

